様式２

基　　本　　事　　項			
フ　リ　ガ　ナ 1. 氏　　名	ｻｶｲ　ﾀｶﾉﾘ 坂井　孝典	男	
2 生 年 月 日 (年齢) (外国籍の場合は国籍)	（　　）		

4.　学　　歴	
年（西暦）月	事　　項　（入学，卒業，修了，中退）
2002年4月	東京工業大学　第6類　入学
2006年3月	東京工業大学　土木工学科　卒業
2006年4月	東京工業大学　人間環境システム工学科　修士課程 入学
2006年9月	カリフォルニア大学アーバイン校　土木環境工学部　大学院 入学（交換留学プログラム）
2007年6月	カリフォルニア大学アーバイン校　土木環境工学部　交換留学プログラム 修了（学位未取得）
2008年3月	東京工業大学　人間環境システム工学科　修士課程 修了
2013年8月	イリノイ大学シカゴ校　都市計画・政策科　博士課程 入学
2017年8月	イリノイ大学シカゴ校　都市計画・政策科　博士課程 修了
	以上

5.　学 位，資 格，免 許	
年（西暦）月	名 称，交 付 機 関，番 号，論 文 名　等
2008年3月	修士学位論文 東京工業大学　工修第29610号
	論文名：計画確定行為における合理性確保に関する研究
2017年8月	Doctor of Philosophy in Urban Planning and Policy　イリノイ大学シカゴ校　番号無し
	論文名：The Simulations of the Urban Logistics Land Use and Associated Logistics Chains for Policy Insights　https://indigo.uic.edu/articles/thesis/The_Simulations_of_the_Urban_Logistics_Land_Use_and_Associated_Logistics_Chains_for_Policy_Insights/10883999
	以上

6.　職　　歴	
年（西暦）月	事　　項　（終期）
2008年4月	株式会社アルメック　海外室　研究員（2012年11月まで）
2013年8月	イリノイ大学シカゴ校　College of Urban Planning and Public Affairs　リサーチアシスタント（2017年5月まで）
	（担当科目：UPP 510: Data Analysis for Planning and Management [Spring 2016-ティーチングアシスタント/Spring 2017-共同講師]/UPP 560: Urban Transportation Planning I　[Fall 2016-共同講師]）
2017年6月	Singapore-MIT Alliance for Research and Technology　リサーチアソシエイト/博士研究員/シニア博

	士研究員（2021年2月まで）
2021年2月	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士前期課程海運ロジスティクス専攻　研究指導及び講義担当
2021年4月	東京海洋大学学術研究院流通情報工学部門准教授　（現在に至る）
2022年2月	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科博士後期課程応用環境システム学専攻 ロジスティクス専攻分野研究指導及び講義担当
	以上

7.　学会及び社会における活動等

年（西暦）月	事　　項
2018年6月	World Society for Transport and Land Use Research　会員（2021年6月まで）
2019年2月	Transportation Research Board（TRB）Freight Transportation Planning and Logistics Committee（AT015）　委員（2025年6月まで）
2022年3月	国土交通省・株式会社NX総合研究所「第11回全国貨物純流動調査の分析・とりまとめに関する検討会」委員（2023年3月まで）
2022年5月	東京都市圏交通計画協議会（国土交通省関東地方整備局）「東京都市圏総合都市交通体系のあり方検討会 モデリング・データ活用WG」　委員（2026年3月まで）
2022年5月	土木学会　会員（現在に至る）
2022年9月	World Conference on Transport Research Society（WCTRS）　会員（現在に至る）
2023年4月	国土交通省・一般財団法人計量計画研究所「OD調査に関する懇談会（OD調査懇談会）」　委員（現在に至る）
2023年9月	国土交通省国土政策研究所（国政研）・中央復建コンサルタンツ株式会社「物流と都市・交通インフラの連携による環境負荷削減方策に関する調査研究」　有識者委員（2024年3月まで）
2023年12月	一般財団法人運輸総合研究所「交通分野における自動運転導入の効果・影響分析と普及加速化に関する検討委員会」　委員（2025年3月まで）
2023年12月	一般財団法人運輸総合研究所「交通産業GXロードマップ検討会」　委員（2025年3月まで）
2024年2月	Institute for City Logistics　ダイレクター（現在に至る）
2024年9月	世界道路協会（PIARC）ST2「モビリティ」TC2.3「貨物輸送」国内委員会　委員（現在に至る）
2025年3月	台東区「駐車場整備計画策定委員会」　委員（2026年3月まで）
2026年1月	Transportation Research Record（TRR）, SAGE　Handling Editor（現在に至る）
2026年2月	国土交通省・パシフィックコンサルタンツ株式会社「第12回全国貨物純流動調査の分析・とりまとめに関する検討会」　委員（2026年3月まで）
2026年5月	秋葉原駅周辺（外神田）地区駐車場地域ルール策定協議会　委員（現在に至る）
2026年9月	国土交通省・株式会社NX総合研究所「第12回全国貨物純流動調査における分析・とりまとめに関する検討会」　委員（現在に至る）
	以上

8.　賞　　罰

年　　月	事　　項
2013年4月	イリノイ大学シカゴ校　Urban Planning and Policy Scholar Award（2013～2017年）
2013年7月	日本学生支援機構（JASSO）　留学生交流支援制度（長期派遣）採用（2013～2016年）

2017年1月	Transportation Research Board　都市貨物交通委員会　2017 Best Paper Award （論文タイトル：Logistics Chain Modeling for Urban Freight: Pairing Truck Trip Ends with Logistics Facilities）
2018年1月	Transportation Research Board　都市貨物交通委員会　2018 Best Paper Award （論文タイトル：Testing the ‘Freight Landscape’ Concept for Paris）
2025年6月	土木学会論文集 特集号（土木計画学）　優秀論文賞 （論文タイトル：「2つの交通センサスデータを組み合わせたValue Flow推計手法の開発」）

以上

9. 論　　文　　数　（うち最近５年間の論文数）　≪First authorの論文数≫　＜Corresponding authorの論文数＞

著　書　数	6　（　5　）	研究発表数	74（　40　）≪ 25 ≫＜ 11 ＞
学術論文数	44（　22　）≪ 19 ≫＜ 6 ＞	その他	3（　0　）≪　3　≫＜　0　＞
発表論文数	0（　0　）≪　0　≫＜　0　＞		

10.　　職　　務　　の　　状　　況

所　　属 （本学以外の場合は機関名から記載）	職　名	担当授業科目名	担当授業単位数				備　　考
			学部	大学院	非常勤等	計	
流通情報工学科	准教授	流通基盤計画学	2			2	3学期
流通情報工学科	准教授	流通情報工学演習	1			1	前期のみ 分担 (3コマ5.25時間)
流通情報工学科	准教授	交通計画学A	1			1	1学期 分担
流通情報工学科	准教授	交通計画学B	1			1	1学期 分担
流通情報工学科	准教授	データサイエンス	2			2	1学期
流通情報工学科	准教授	流通情報工学ゼミナールⅠ	1			1	前期のみ （0.5コマ0.9時間）
流通情報工学科	准教授	流通情報工学ゼミナールⅡ	1			1	後期のみ
流通情報工学科	准教授	卒業研究	5			5	集中
海運ロジスティクス専攻	准教授	交通計画論		2		2	1前期のみ 分担
海運ロジスティクス専攻	准教授	地域計画学演習		2		2	前期のみ　集中 分担
応用環境システム学専攻	准教授	人工知能・機械学習特論		2		2	前期のみ　集中
応用環境システム学専攻	准教授	交通システム計画工学特論		2		2	前期のみ　分担
応用環境システム学専攻	准教授	交通ロジスティクス工学演習		2		2	後期のみ　集中 分担

著書，学術論文等の名称	単著，共著の別	発行又は発表の年(西暦)月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	著書等の概要(50字程度)及び本人執筆部分の概要等 (共著の場合は共著者名を付記)
(著書) ・単著総数：0 ・共著総数：6				
1　'Laboratories for Freight Research', in Shi, W., Goodchild, M., Batty, M. and Kwan, M.P. (ed.) Urban Informatics	共著	2021年4月	Springer, pp. 171-195. DOI: 10.1007/978-981-15-8983-6	貨物交通研究のために開発された2つのデータ収集・分析プラットフォーム（FMS, SimMobility）を紹介した。【本人担当部分】SimMobilityに関する記述を担当した。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Fang Zhao, Linlin You, Peiyu Jing, Lynette Cheah, Christopher Zegras, Moshe Ben-Akiva
2　'New Urban Freight Developments and Land Use', in de Abreu e Silva, J., Currans, K. M., Van Acker, V. and Schneider, R. J. (ed.) Handbook on Transport and Land Use	共著	2023年5月	Edward Elgar Publishing, pp. 383-397. DOI: 10.4337/9781800370258.00030	Eコマース等による都市貨物の変化と土地利用との関係、今後の計画上の課題を整理した。【本人担当部分】共著者として都市貨物・物流施設に関する知見を提供し、章の執筆に参画した。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Giacomo Dalla Chiara
3　'Evaluating City Logistics Solutions with Agent-Based Microsimulation', in Marcucci, E., Gatta, V. and Le Pira, M. (ed.) Handbook on City Logistics and Urban Freight	共著	2023年6月	Edward Elgar Publishing, pp. 98-114. DOI: 10.4337/9781800370173.00013	エージェントベース貨物交通シミュレーションの特徴を整理し、SimMobilityを用いた物流施策評価を示した。【本人担当部分】筆頭著者として章の執筆に参画し、都市貨物シミュレーションと施策評価に関する記述を中心に担当した。 Takanori Sakai, Peiyu Jing, André Romano Alho, Ravi Seshadri, Moshe Ben-Akiva
4　'Facility Locations in Urban Logistics', in Monios, J., Budd, L. and Ison, S. (ed.) The Routledge Handbook of Urban Logistics	共著	2023年6月	Routledge, pp. 189-207. DOI: 10.4324/9781003241478-18	都市物流施設の立地特性、立地要因、物流スプロール等に関する研究知見を体系的に整理した。【本人担当部分】筆頭著者として章の構成・執筆に参画し、物流施設立地に関する研究知見を取りまとめた。 Takanori Sakai, Adrien Beziat, Adeline Heitz
5　トラック輸送イノベーションが解決する物流危機	共著	2024年3月	成山堂書店	物流2024年問題を背景に、長大トラックや高速道路施設等を活用した物流効率化策を解説した。【本人担当部分】pp. 99-111およびpp. 127-140を分担執筆した。 兵藤哲朗，根本敏則，稲庭暢，利部智，後藤孝夫，坂井孝典，坂野花菜子，田邉肇，西峯洋平，平田輝満，味水佑毅，山本隆，渡部大輔
6　'Last-Mile Delivery', in Elgar Encyclopedia of Transport and Society	共著	2025年11月	Edward Elgar Publishing, pp. 220-221. DOI: 10.4337/9781035330522-00114	都市物流におけるラストマイル配送の特徴、課題、近年の変化について概説した。【本人担当部分】章の全文を執筆した。 Takanori Sakai
(学術論文) ・単著総数：0 ・共著総数：44				

1　Citizens' Evaluation of Road Planning Process: Case Study of Yokohama North-West Corridor	共著	2007年12月	Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Volume 7, pp. 283-298. DOI: 10.11175/easts.7.283	パブリックインボルブメントを念頭に、市民による計画プロセスに対する評価に関する調査を行い、市民による評価の可能性について議論した。【本人担当部分】調査デザインと横浜北西線沿線住民を対象としたデータ収集を行った。 Chunyan Shan, Tetsuo Yai, Takanori Sakai
2　計画確定行為における合理性確保に関する研究	共著	2009年5月	土木学会論文集D, 65(2), 111-128. DOI: 10.2208/jscejd.65.111	計画確定行為における合理性を構成する概念体系を構築し、法的適用場面における合理性の使用実態を把握した。【本人担当部分】全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） 坂井 孝典, 屋井 鉄雄
3　Urban Freight Survey Sampling: Challenges and Strategies	共著	2015年1月	Proceedings of the 94th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	都市貨物調査データにブートストラップ法を適用し、異なるサンプリング手法が調査精度に与える影響を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
4　Locational Dynamics of Logistics Facilities: Evidence from Tokyo	共著	2015年6月	Journal of Transport Geography, Volume 46, pp. 10-19. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2015.05.003	東京都市圏における物流施設の郊外化とトラック交通量との関連を、立地の最適性に焦点を当てて分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
5　東京都市圏物資流動調査による空間相関を考慮した物流施設立地選択モデルの検討	共著	2015年10月	土木学会論文集D3（土木計画学）, 71(4), 156-167. DOI: 10.2208/jscejipm.71.156	東京都市圏物資流動調査を用い、空間相関を考慮した物流施設立地選択モデルを含む複数のモデル仕様を比較した。【本人担当部分】立地選択分析コードの精査、および論文の加筆修正を行った。 兵藤 哲朗, 坂井 孝典, 河村 和哉
6　Location Choice Models of Urban Logistics Facilities and the Impact of Zoning on Their Spatial Distribution and Efficiency	共著	2016年1月	Proceedings of the 95th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	物流施設の立地選択モデルを開発し、異なる土地利用政策シナリオに適用して空間分布と効率性への影響を評価した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
7　Logistics Facility Distribution in Tokyo Metropolitan Area: Experiences and Policy Lessons	共著	2016年2月	Transportation Research Procedia, Volume 12, pp. 263-277. DOI: 10.1016/j.trpro.2016.02.064	東京都市圏の物流施設の空間分布を設立年次別に分析し、地価変動や土地利用規制との関連を考察した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo

８　Logistics Chain Modeling for Urban Freight: Pairing Truck Trip Ends with Logistics Facilities	共著	2017年1月	Transportation Research Record: Journal of the Transportation Research Board, Volume 2609, Issue 1, pp. 55-66. DOI: 10.3141/2609-07	貨物車トリップ端と物流施設をマッチさせる物流施設選択モデルを提案し、そのパラメータを推定した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
９　Spatial Reorganization of Urban Logistics Systems and Its Impacts: Case of Tokyo	共著	2017年4月	Journal of Transport Geography, Volume 60, pp. 110-118. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2017.03.001	2時点の物資流動調査を用いて、東京都市圏の物流施設と関連貨物交通の経年変化を空間分析により明らかにした。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１０　Testing the ‘Freight Landscape’ Concept for Paris	共著	2018年6月	Transportation Research Record: Journal of the Transportation Research Board. DOI: 10.1177/0361198118776783	パリ都市圏を対象に空間ラグモデルを用い、人口、雇用、企業、アクセシビリティ等と貨物交通量との関係を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者はパリ都市圏のデータ収集、文献レビューの一部、データ説明の草案作成を担当。） Takanori Sakai, Adrien Beziat, Adeline Heitz, Laetitia Dablanc
１１　The Relationship Between Commodity Types, Spatial Characteristics, and Distance Optimality of Logistics Facilities	共著	2018年8月	Journal of Transport and Land Use, Volume 11, No. 1, pp. 575-591. DOI: 10.5198/jtlu.2018.1363	東京都市圏における物流施設の立地と関連貨物車トリップを、施設が取り扱う品目別に分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１２　Evaluation of the Spatial Pattern of Logistics Facilities Using Urban Logistics Land-Use and Traffic Simulator	共著	2019年1月	Journal of Transport Geography, Volume 74, pp. 145-160. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2018.10.011	都市貨物土地利用・交通シミュレータを開発し、物流施設の空間分布に起因する都市貨物交通への影響を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１３　Exploring Algorithms for Revealing Freight Vehicle Tours, Tour-Types, and Tour-Chain-Types from GPS Vehicle Traces and Stop Activity Data	共著	2019年11月	Journal of Big Data Analytics in Transportation, 1, pp. 175-190. DOI: 10.1007/s42421-019-00011-x	貨物車GPSデータを用い、ストップのツアーへの割当て、ツアータイプ・ツアーチェーンタイプの特定手法を比較した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン（ツアーの定義等）、結果の解釈、論文の加筆修正を行った。 Andre Romano Alho, Takanori Sakai, Ming Hong Chua, Kyungsoo Jeong, Peiyu Jing, Moshe Ben-Akiva

１４　Assessing Overnight Parking Infrastructure Policies for Commercial Vehicles in Cities Using Agent-Based Simulation	共著	2020年3月	Sustainability, Volume 12, No. 7, 2673. DOI: 10.3390/su12072673	大型貨物車の夜間駐車選択モデルを開発して都市交通シミュレータに組み込み、駐車施設供給シナリオを比較した。【本人担当部分】モデル推計（夜間駐車選択モデルの雛形作成）、SimMobility設定の補助、論文の加筆修正を行った。 Raja Gopalakrishnan, André Romano Alho, Takanori Sakai, Yusuke Hara, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
１５　Commodity Flow Estimation for a Metropolitan Scale Freight Modeling System: Supplier Selection Considering Distribution Channel Using an Error Component Logit Mixture Model	共著	2020年4月	Transportation, Volume 47, pp. 997-1025. DOI: 10.1007/s11116-018-9932-1	貨物交通シミュレータへの適用を目的に、配送チャネル選択を考慮したサプライヤー選択モデルを推定した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者とは離散選択モデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, Bhavathathran B. K., André Romano Alho, Tetsuro Hyodo, Moshe Ben-Akiva
１６　Empirical Shipment Size Model for Urban Freight and Its Implications	共著	2020年4月	Transportation Research Record: Journal of the Transportation Research Board. DOI: 10.1177/0361198120914890	都市貨物配送データを用いて配送サイズモデルを推定し、推定結果を経済発注量モデルの理論と比較した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者とは配送サイズモデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, André Alho, Tetsuro Hyodo, Moshe Ben-Akiva
１７　Location Factors for Logistics Facilities: Location Choice Modeling Considering Activity Categories	共著	2020年5月	Journal of Transport Geography, Volume 85, 102710. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2020.102710	パリ都市圏の物流施設データを用い、施設タイプ別に立地選択モデルを推定して立地要因を明らかにした。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者はデータ収集、文献レビューの一部、データ説明の草案作成を担当。） Takanori Sakai, Adrien Beziat, Adeline Heitz
１８　Logistics Facilities for Intra- and Inter-Regional Shipping: Spatial Distributions, Location Choice Factors, and Externality	共著	2020年6月	Journal of Transport Geography, Volume 86, 102783. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2020.102783	東京都市圏の物流施設を圏内・圏外配送での役割に基づき分類し、立地選択と関連交通への影響を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（論文執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１９　SimMobility Freight: An Agent-Based Urban Freight Simulator for Evaluating Logistics Solutions	共著	2020年9月	Transportation Research Part E: Logistics and Transportation Review, Volume 141, 102017. DOI: 10.1016/j.tre.2020.102017	都市貨物交通シミュレータSimMobility Freightを提案・開発し、シンガポールにおいて複数の物流施策を評価した。【本人担当部分】SimMobility Freight全体のシステムデザイン、モデル主要部の開発、施策評価を行い、論文のほぼ全文を執筆した。 Takanori Sakai, André Alho, Bhavathrathan B. K., Giacomo Dalla Chiara, Raja Gopalakrishnan, Peiyu Jing, Tetsuro Hyodo, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva

２０　Assessing the Reproducibility of Freight Vehicle Flows Using Tour and Trip-Based Models for Shipment-to-Vehicle Flow Conversion	共著	2021年2月	Simulation Modelling Practice and Theory, Volume 107, 102207. DOI: 10.1016/j.simpat.2020.102207	シンガポールの貨物車運行データを用い、3種類の貨物車交通シミュレーションモデルの再現性能を比較した。【本人担当部分*筆頭著者と共に研究デザイン、3モデルの定義、シミュレーション手法の設計、結果解釈、論文加筆修正を行った。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Ming Hong Chua, Max Raven, Yusuke Hara, Moshe Ben-Akiva
２１　Exploring the Relationship Between Locational and Household Characteristics and E-Commerce Home Delivery Demand	共著	2021年5月	Logistics, 5(2), 29. DOI: 10.3390/logistics5020029	シンガポールの配送実績・社会経済データを用い、Eコマース配送需要と立地・世帯特性との関係を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、重回帰モデルによるデータ分析、結果解釈、論文執筆を行った。 Cheng Cheng, Takanori Sakai, André Alho, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２２　A Simulation-Based Evaluation of a Cargo-Hitching Service for E-Commerce Using Mobility-on-Demand Vehicles	共著	2021年11月	Future Transportation, 1(3), 639-656. DOI: 10.3390/futuretransp1030034	都市圏交通シミュレータを用い、Eコマース向けカーゴヒッチングが旅客・貨物交通量とサービス水準に与える影響を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、シミュレーションモデルの構築、論文執筆を行った。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Simon Oh, Cheng Cheng, Ravi Seshadri, Wen Han Chong, Yusuke Hara, Julia Caravias, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２３　Impact of Automated Mobility-On-Demand on Weekly Activity Patterns: A Study of Singapore	共著	2022年2月	Transportation Research Record, 2676(6), 340-352. DOI: 10.1177/03611981221074376	シンガポールのSP調査データを用い、オンデマンド自動運転サービス導入が週単位の活動・移動パターンに与える影響を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共にモデルの構築、結果の解釈、論文執筆を行った。 Karina Hermawan, Ravi Seshadri, Takanori Sakai, P. Christopher Zegras, Moshe Ben-Akiva
２４　An Agent-Based Simulation Assessment of Freight Parking Demand Management Strategies for Large Urban Freight Generators	共著	2022年3月	Research in Transportation Business & Management, 43, 100804. DOI: 10.1016/j.rtbm.2022.100804	大規模商業施設を対象に、エージェントベースシミュレーションを用いて貨物車駐車需要管理策の効果を評価した。【本人担当部分】SimMobility Freightの開発経験を基に、貨物需要・駐車シミュレーション設定への助言、結果解釈、論文加筆修正を行った。 André Romano Alho, Simon Oh, Ravi Seshadri, Giacomo Dalla Chiara, Wen Han Chong, Takanori Sakai, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２５　Online and In-Person Activity Logging Using a Smartphone-Based Travel, Activity, and Time-Use Survey	共著	2022年3月	Transportation Research Interdisciplinary Perspectives, 13, 100524. DOI: 10.1016/j.trip.2021.100524	スマートフォンでオンライン・対面活動、移動、支出を記録する調査システムを開発し、シンガポールで実証した。【本人担当部分】筆頭著者と共にソフトウェアのデザイン、論文の加筆修正を行った。 André Alho, Cheng Cheng, Dao Trung Hieu, Takanori Sakai, Fang Zhao, Moshe Ben-Akiva, Lynette Cheah

２６　Screenline-Based Two-Step Calibration and Its Application to an Agent-Based Urban Freight Simulator	共著	2022年3月	Transportation Research Record, 2677(2), 204-218. DOI: 10.1177/03611981221082562	スクリーンライン交通量のみを用いる二段階キャリブレーション手法を提案し、SimMobility Freightへの適用性を検証した。【本人担当部分】研究デザイン、データ収集、結果の分析・解釈、論文執筆を共同で行った。 Yusuke Hara, Takanori Sakai, André Romano Alho, Moshe Ben-Akiva
２７　Evaluating the Impact of Urban Consolidation Center and Off-Hour Deliveries on Freight Flows to a Retail District Using Agent-Based Simulation	共著	2022年5月	Transportation Research Record, 2677(2), 264-281. DOI: 10.1177/03611981221092385	エージェントベースシミュレーションを用いて、シンガポールで共同配送とオフアワー配送の効果を評価した。【本人担当部分】シミュレータの開発者としてシミュレーション実施を補助し、論文の加筆修正を行った。 Rakhi Manohar Mepparambath, Lynette Cheah, P. Christopher Zegras, André Romano Alho, Takanori Sakai
２８　Household-Based E-Commerce Demand Modeling for an Agent-Based Urban Transportation Simulation Platform	共著	2022年6月	Transportation Planning and Technology, 45(2), 179-201. DOI: 10.1080/03081060.2022.2084397	Eコマース支出、購入量、配送手段等を推計する世帯ベース需要モデルを開発し、都市貨物シミュレータに実装した。【本人担当部分】研究構想、需要モデルの設計、シミュレータへの実装、結果解釈および論文執筆を主導した。 Takanori Sakai, Yusuke Hara, Ravi Seshadri, André Romano Alho, Md Sami Hasnine, Peiyu Jing, ZhiYuan Chua, Moshe Ben-Akiva
２９　‘Proximity Logistics’: Characterizing the Development of Logistics Facilities in Dense, Mixed-Use Urban Areas Around the World	共著	2022年12月	Transportation Research Part A: Policy and Practice, 166, 41-61. DOI: 10.1016/j.tra.2022.10.007	世界5都市を比較し、高密度・複合用途地域に立地する都市型物流施設の特徴と成立条件を整理した。【本人担当部分】東京のケーススタディについて方法論、調査、可視化および分析結果の検証を担当した。 Heleen Buldeo Rai, Sanggyun Kang, Takanori Sakai, Carla Tejada, Quan (Jack) Yuan, Alison Conway, Laetitia Dablanc
３０　強化学習を用いた長大車の高速道路合流箇所の安全性評価	共著	2023年5月	土木学会論文集D3（土木計画学），78(5), I_809-I_824.	強化学習による高速道路合流シミュレーションを構築し、長大車導入が合流部の安全性に与える影響を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーション分析方法への助言、結果の解釈および論文の加筆修正を行った。 東富隆馬，西崎省吾，兵藤哲朗，坂井孝典
３１　高速道路におけるトラック隊列走行・自動運転に対応した物流拠点の整備に関する研究	共著	2023年6月	日本物流学会誌，31, 57-64.	トラック隊列走行・自動運転に対応した高速道路直結型物流拠点の機能、配置および整備方針を検討した。【本人担当部分】都市物流・物流施設の観点から研究設計、調査結果の整理・解釈、論文の加筆修正を行った。 渡部大輔，平田輝満，坂井孝典，根本敏則，兵藤哲朗
３２　シミュレーターを用いた高速道路SA/PAの駐車需要分散施策の評価	共著	2024年2月	交通工学論文集, 10(1), A_49-A_57.	ETC/FFデータと利用選択モデルを用いて高速道路SA/PAの大型車駐車需要を分析し、需要分散施策を評価した。【本人担当部分】研究デザイン、SA/PA利用特性モデル・シミュレーション分析への助言、結果解釈、論文加筆修正を行った。 有賀なつほ，兵藤哲朗，坂井孝典

３３　Evaluating Congestion Pricing Schemes Using Agent-Based Passenger and Freight Microsimulation	共著	2024年6月	Transportation Research Part A: Policy and Practice, 186, 104118. DOI: 10.1016/j.tra.2024.104118	SimMobilityを用いて複数の混雑課金方式を比較し、旅客・貨物交通への効率性と分配影響を評価した。【本人担当部分】SimMobility Freightによる貨物交通部分のモデル構築、分析設定への助言、シミュレーション結果の解釈および論文加筆修正を行った。 Peiyu Jing, Ravi Seshadri, Takanori Sakai, Ali Shamshiripour, André Romano Alho, Antonios Lentzakis, Moshe E. Ben-Akiva
３４　The Relationship Between the Spatial Distribution of Mega-Scale Logistics Facilities and the Associated Freight Traffic	共著	2024年7月	Transportation Research Procedia, 79, 273-280. DOI: 10.1016/j.trpro.2024.03.037	都市貨物シミュレータを用いて、超大型マルチテナント物流施設の空間分布と関連貨物車交通の関係を評価した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーション分析、結果解釈および論文執筆を主導した。 Takanori Sakai, Virgilio Ma. Ramos Jr., Tetsuro Hyodo
３５　The Evolution of Urban Freight Generation: A Study of Intra- and Inter-City Truck Trips	共著	2024年7月	Transportation Research Procedia, 79, 393-400. DOI: 10.1016/j.trpro.2024.03.052	東京都市圏の2003・2013年データを用いて貨物車発生モデルを推定し、都市内・都市間貨物交通の変化を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、貨物車発生モデルの構築・分析、結果解釈および論文執筆を行った。 Yurika Takano, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
３６　Locations of Logistics Facilities for E-Commerce: A Case of the Tokyo Metropolitan Area	共著	2024年8月	Research in Transportation Business & Management, 56, 101174. DOI: 10.1016/j.rtbm.2024.101174	東京都市圏を対象に、Eコマース関連の大型物流施設とラストマイル配送拠点の空間分布・立地要因を分析した。【本人担当部分】研究構想、方法論、ソフトウェア、統計分析、研究指導および論文執筆・加筆修正を担当した。 Takanori Sakai, Kohei Santo, Shinya Tanaka, Tetsuro Hyodo
３７　Development of an Online Daily Goods Shopping Demand Model Using Internet-Based Consumption Behavior Survey Data	共著	2024年8月	Transportation Research Record, 2679(2), 1639-1650. DOI: 10.1177/03611981241270172	Web調査データを用いて、日用品のオンライン購入額と注文量・頻度を推計する世帯ベース需要モデルを開発した。【本人担当部分】研究構想・設計、データ収集、結果の分析・解釈、論文執筆を筆頭著者と共同で行った。 Riki Motojima, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
３８　Does Proximity to MRT Stations Affect Online Shopping Use? An Analysis Using Data from Japan and New York	共著	2024年9月	Urban Science, 8(4), 154. DOI: 10.3390/urbansci8040154	日本とニューヨークのデータを用い、鉄道駅への近接性とオンライン・実店舗購買傾向の関係を比較分析した。【本人担当部分】研究構想、方法論、統計分析、論文執筆・加筆修正および研究指導を担当した。 Yusei Onuma, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
３９　Development of a Delivery Time-Period Selection Model for Urban Freight Using GPS Data	共著	2025年2月	Smart Cities, 8(1), 31. DOI: 10.3390/smartcities8010031	東京都市圏のGPS軌跡から擬似貨物データを作成し、貨物の配送時間帯選択モデルを開発・検証した。【本人担当部分】研究構想、方法論、論文執筆・加筆修正および研究指導を担当した。 Ryota Kodera, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo

４０　２つの交通センサスデータを組み合わせた Value Flow 推計方法の開発	共著	2025 年 7 月	土木学会論文集 D3, 80(20), 論文 ID: 24-20006. DOI: 10.2208/jscejj.24-20006	物流センサスと道路交通センサスを組み合わせ、道路リンク単位の貨物価値を推計する Value Flow 推計手法を開発した。【本人担当部分】研究デザイン、物流・道路交通センサスの統合方法の検討、推計結果の解釈および論文加筆修正を行った。 兵藤哲朗, 坂井孝典, 山本隆
４１　Locating in Informally-Developed Spaces: Disentangling the Spatial Preferences of E-Commerce Logistics Microhubs	共著	2025 年 7 月	Journal of Transport Geography, 127, 104287. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2025.104287	深圳を対象に、E コマース物流マイクロハブの立地特性と非公式開発空間が立地選択に与える影響を分析した。【本人担当部分】方法論、研究指導および論文の加筆修正を担当した。 Zuopeng Xiao, Xiangyu Du, Takanori Sakai
４２　Freight Trip Generation in Metropolitan Areas: An International Perspective	共著	2026 年 2 月	Transportation Research Part A: Policy and Practice, 204, 104847. DOI: 10.1016/j.tra.2025.104847	4 大陸 24 都市圏のデータを比較し、事業所規模・産業構成等と貨物交通発生量の関係及びモデル移転可能性を分析した。【本人担当部分】主に東京圏の貨物交通データ・知見を提供し、国際比較結果の検証・解釈および論文加筆修正に参画した。 Julia Amaral, José Holguín-Veras, Matthew J. Roorda, Abel Kebede Reda, Mathieu Gardrat, Leise Kelli de Oliveira, Elias S. Goodrich, Oriana Calderón, Carlos Gonzalez-Calderon, Tho V. Le, Jesus Gonzalez-Feliu, Usman Ahmed, Ivan Sanchez-Diaz, Prasanta K. Sahu, Takanori Sakai, Abdelrahman Ismael, Diana Ramirez-Rios, Elise Capersen, José Luis Moura, Luigi Dell'Olio, Maira Delgado-Lindeman, Martin Ruesch, Paolo Todesco
４３　Diversity in the Evolution of Last-Mile Deliveries: Interactions Between E-Commerce Growth, Urban Development, Planning, and the Delivery Service Market	共著	2026 年 9 月	Case Studies on Transport Policy, 25, 101845. DOI: 10.1016/j.cstp.2026.101845	5 都市を比較し、都市構造、政策、市場構造等が E コマースのラストマイル配送システムに与える影響を分析した。【本人担当部分】研究構想、方法論、調査、検証、可視化、論文執筆・加筆修正を担当し、研究を主導した。 Takanori Sakai, Bram Kin, Heleen Buldeo Rai, Alison Conway, Lynette Cheah, Giacomo Dalla Chiara, Walther Ploos van Amstel
４４　Development of an Urban Typology Framework for Supporting Sustainable Freight Planning: A Case of Japanese Municipalities	共著	2026 年 9 月	Journal of Transport Geography, 137, 104839. DOI: 10.1016/j.jtrangeo.2026.104839	日本 7 都市圏 688 自治体の貨物需要・土地利用等を用い、都市物流特性を 9 類型に分類するタイポロジーを開発した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、分析方法・類型化手法、結果の検証・解釈、論文執筆および研究指導を行った。 Yuichiro Tanaka, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo, Ryota Kodera
（発表論文） ・単著総数：0 ・共著総数：0 1 2				

（研究発表） ・単著総数：0 ・共著総数：74				
1　計画地近傍の住民による道路計画プロセスの事後評価の可能性	共著	2006年12月	第34回土木計画学研究発表会（秋大会）	横浜北西線沿線住民による計画プロセスに対する評価に関して調査を行い、市民による評価について議論した。【本人担当部分】全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） 坂井孝典・単春艶・屋井鉄雄
2　Evaluation of Road Planning Process: Case Study of Yokohama North-West Corridor	共著	2007年9月	The 7th International Conference of Eastern Asia Society for Transportation Studies, Dalian, China	パブリックインボルブメントを念頭に、市民による計画プロセスに対する評価に関する調査を行い、市民による評価の可能性について議論した。【本人担当部分】調査デザインと横浜北西線沿線住民を対象としたデータ収集を行った。 Chunyan Shan, Tetsuo Yai, Takanori Sakai
3　計画確定行為における合理性確保に関する研究	共著	2008年6月	第37回土木計画学研究発表会（春大会）	計画確定行為における合理性を構成する概念体系を構築し、法的適用場面における合理性の使用実態を把握した。【本人担当部分】全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） 坂井孝典・屋井鉄雄
4　Findings from Tokyo Metropolitan Freight Survey: Reality of Goods Movement and Its Implications	共著	2014年2月	Logistics, Trade and Transportation Symposium, Long Beach, Mississippi	2003年東京都市圏物資流動調査を用い、貨物流の流通経路、取扱品目の多様性、交通影響等を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
5　Large-Scale Metropolitan Freight Surveys: Challenges and What Data Say about Them	共著	2014年8月	Mid-Continent Transportation Research Symposium, Madison, Wisconsin	2003年東京都市圏物資流動調査を用い、貨物流の特性と貨物発生量の大規模荷送業者への偏りを分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
6　Locational Dynamics and Efficiency of Logistics Facilities: Evidence from Tokyo	共著	2014年10月	ACSP 54th Annual Conference, Philadelphia, Pennsylvania	東京都市圏の物流施設立地について、カーネル密度推定を用いて経年変化、立地要因、配送距離を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
7　Logistics Facility Distribution in Tokyo Metropolitan Area: Experiences and Policy Lessons	共著	2015年6月	The 9th International Conference on City Logistics, Tenerife, Canary Islands, Spain	東京都市圏の物流施設の空間分布を設立年次別に分析し、地価変動や土地利用規制との関連を考察した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo

８　Urban Freight Survey Strategy to Address Skewness in Freight Activity Variables	共著	2015年10月	The 6th International Urban Freight Conference, Long Beach, California	都市貨物調査データにブートストラップ法を適用し、異なるサンプリング手法が調査精度に与える影響を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
９　Impact of Land-Use Regulations on Logistics Facility Distribution	共著	2015年10月	The 6th International Urban Freight Conference, Long Beach, California	物流施設立地選択モデルを用い、土地利用規制による物流施設の立地誘導と貨物車交通への影響を評価した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１０　Landuse Regulations for Logistics: Policy Evaluation with Location Choice Models for the Tokyo Metropolitan Area	共著	2016年7月	The 14th World Conference on Transport Research, Shanghai, China	物流施設の立地選択モデルを開発し、異なる土地利用政策シナリオに適用して施策効果を評価した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１１　Logistics Chain Modeling for Urban Freight: Pairing Truck Trip Ends with Logistics Facilities	共著	2017年1月	The 96th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	貨物車トリップ端と物流施設をマッチさせる物流施設選択モデルを提案し、そのパラメータを推定した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１２　Spatial Characteristics and Efficiency of Logistics Facilities: Lessons from Tokyo	共著	2017年6月	The 10th International Conference on City Logistics, Phuket, Thailand	東京都市圏における物流施設の立地と関連貨物車トリップを、取り扱い品目別に分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo
１３　Urban Freight Distribution Considering Logistics Chain Structure: Selection of Supplier with Distribution Channel	共著	2018年1月	The 97th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	配送チャネル選択を考慮したサプライヤー選択モデル（ネステッドロジットモデル）を推定した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者とは離散選択モデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, Bhavathrathan Bhattiyil Kuzhiyamkunnath, Andre Alho, Tetsuro Hyodo, Moshe Ben-Akiva
１４　Spatial Characteristics and Efficiency of Logistics Facilities	共著	2018年1月	The 97th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	東京都市圏における物流施設の立地と関連貨物車トリップを、取り扱い品目別に分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者からは研究指導を受けた。） Takanori Sakai, Kazuya Kawamura, Tetsuro Hyodo

１５　Testing the ‘Freight Landscape’ Concept for Paris	共著	2018年1月	The 97th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	パリ都市圏を対象に空間ラグモデルを用い、人口、雇用、企業、アクセシビリティ等と貨物交通量との関係を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者はパリ都市圏のデータ収集、文献レビューの一部、データ説明の草案作成を担当。） Takanori Sakai, Adrien Beziat, Adeline Heitz, Laetitia Dablanc
１６　A Multi-Scale Agent-Based Modelling Framework for Urban Freight Distribution	共著	2018年6月	The 7th International Conference on Innovations in Travel Modeling, Atlanta, Georgia	SimMobility Freightのデザインコンセプトを提案し、その開発状況を取りまとめた。【本人担当部分】筆頭著者と共にSimMobility Freightのデザインに従事した。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Bhavathathran B. K., Diem-Trinh Le, Moshe Ben-Akiva
１７　Revealing Freight Vehicle Tours and Tour Patterns from GPS Vehicle Tracking and Driver Survey Data	共著	2018年6月	The 7th International Conference on Innovations in Travel Modeling, Atlanta, Georgia	貨物車GPSデータを用い、ストップのツアーへの割当て、ツアータイプ・ツアーチェーンタイプの特定手法を比較した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン（ツアーの定義等）、結果の解釈を行った。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Kyungsoo Jeong, Bhavathathran B. K., Moshe Ben-Akiva
１８　Modeling Freight Generation, Commodity Contracts, and Shipments for SimMobility Freight - A Disaggregate Agent-Based Urban Freight Simulator	共著	2019年1月	The 98th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	SimMobility Freightを構成する貨物発生、貨物契約、配送サイズモデルを開発した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者とは各種モデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, Bhavathrathan B. K., André Romano Alho, Tetsuro Hyodo, Moshe Ben-Akiva
１９　Modeling Freight in SimMobility, A Multi-Scale Agent-Based Urban Simulation Platform	共著	2019年5月	World Conference on Transport Research - WCTR 2019, Mumbai, India	都市貨物交通シミュレータSimMobility Freightを提案・開発した。【本人担当部分】SimMobility Freight全体のシステムデザイン、モデル主要部の開発、執筆を行った。 Takanori Sakai, André Alho, Bhavathrathan B. K., Giacomo Dalla Chiara, Raja Gopalakrishnan, Peiyu Jing, Tetsuro Hyodo, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２０　Assessing Overnight Parking Infrastructure Policies for Commercial Vehicles in Cities Using Agent-Based Simulation	共著	2019年6月	The 11th International Conference on City Logistics, Dubrovnik, Croatia	大型貨物車の夜間駐車選択モデルを開発して都市交通シミュレータに組み込み、駐車施設供給シナリオを比較した。【本人担当部分】夜間駐車選択モデルの雛形作成とSimMobility設定の補助を行った。 Raja Gopalakrishnan, Andre Romano Alho, Takanori Sakai, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２１　The Influence of Tour-Formation Assumptions on the Reproducibility of Freight Vehicle Flows	共著	2019年6月	The 11th International Conference on City Logistics, Dubrovnik, Croatia	シンガポールの貨物車運行データを用い、3種類の貨物車交通シミュレーションモデルの性能を比較した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、3モデルの定義、シミュレーション手法の設計、結果の解釈を行った。 André Romano Alho, Takanori Sakai, Ming Hong Chua, Max Raven, Yusuke Hara, Moshe Ben-Akiva

２２　Factors Affecting the Efficiency of Truck Usage and Implications for Logistics Sprawl	共著	2019年6月	The 11th International Conference on City Logistics, Dubrovnik, Croatia	物流施設の特性と関連貨物車の積載量・輸送効率との関係を分析した。【本人担当部分】各物流施設の立地および貨物交通特性の算出等、データ分析を担当した。 Kazuya Kawamura, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
２３　An Empirical Shipment Size Model for Urban Freight	共著	2019年6月	The 11th International Conference on City Logistics, Dubrovnik, Croatia	都市貨物配送データを用いて配送サイズモデルを推定し、経済発注量モデルの理論と比較した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者とは配送サイズモデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, André Alho, Tetsuro Hyodo, Moshe Ben-Akiva
２４　Modelling Logistics Facility Location Decisions: An Analysis for the Paris Region	共著	2019年6月	The 11th International Conference on City Logistics, Dubrovnik, Croatia	パリ都市圏の物流施設データを用いて施設タイプ別に立地選択モデルを推定し、立地要因を分析した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者はデータ収集、文献レビューの一部、データ説明の草案作成を担当。） Takanori Sakai, Adrien Beziat, Adeline Heitz
２５　SimMobility Freight: An Innovative Framework for Agent-Based Urban Freight Modelling	共著	2019年10月	The 26th ITS World Congress, Singapore	都市貨物交通シミュレータSimMobility Freightを提案・開発し、シンガポールにおける施策評価に適用した。【本人担当部分】SimMobility Freight全体のシステムデザイン、モデル主要部の開発、執筆を行った。 Takanori Sakai, André Alho, Bhavathrathan B. K., Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２６　Tapping into Mobility-On-Demand Spare Capacity to Move Parcels. How Much Freight Can Be Moved? Are Passengers Affected?	共著	2019年12月	The 3rd International Symposium on Multimodal Transportation, Singapore	オンデマンド旅客自動車の余剰容量を小包配送に活用した場合の交通影響を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、SimMobilityを用いたシミュレーションの準備、結果の解釈を行った。 Andre Romano Alho, Takanori Sakai, Simon Oh, Ravi Seshadri, Wen Han Chong, Julia Caravias, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
２７　The Influence of Tour-Formation Assumptions on the Reproducibility of Freight Vehicle Flows	共著	2020年1月	The 99th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	シンガポールの貨物車運行データを用い、3種類の貨物車交通シミュレーションモデルの性能を比較した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、3モデルの定義、シミュレーション手法の設計、結果の解釈を行った。 Andre Romano Alho, Takanori Sakai, Ming Hong Chua, Max Raven, Yusuke Hara, Moshe Ben-Akiva
２８　An Empirical Shipment Size Model for Urban Freight and Its Implications	共著	2020年1月	The 99th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	都市貨物配送データを用いて配送サイズモデルを推定し、推定結果を経済発注量モデルの理論と比較した。【本人担当部分】データ収集を除く全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者とは配送サイズモデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, André Alho, Tetsuro Hyodo, Moshe Ben-Akiva

２９　The Simulation of Logistics Planning for Shipment-to-Vehicle Tour Conversion in an Agent-Based Urban Freight Modeling System	共著	2020年1月	The 99th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	SimMobility Freightの一部である、貨物を車両ツアーへ変換するロジスティクス計画モデルを開発した。【本人担当部分】全ての作業（執筆を含む）を担当した。（共著者とは各種モデル設計について意見交換を行った。） Takanori Sakai, André Alho, Yusuke Hara, Moshe Ben-Akiva
３０　Exploring the Relationship Between the Locational and Household Characteristics and Online Shopping	共著	2020年8月	Bridging Transportation Researchers (BTR) Conference, Online	世帯特性・立地特性とEコマース需要との関係を分析した。【本人担当部分】世帯特性・立地特性を説明変数とするEコマース需要モデルの推定および執筆を含め、研究全般で筆頭著者を補助した。 Cheng Cheng, Takanori Sakai, André Alho, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
３１　Agent-Based Urban Freight Simulator for Evaluating Logistics Solutions - SimMobility Freight - and Data Collection Approach	共著	2020年11月	The IEEE-Forum ISTS2020, Online/Delft, The Netherlands	Eコマースモデルと一体化した都市貨物交通シミュレータSimMobility Freightを提案・開発した。【本人担当部分】SimMobility Freight全体のシステムデザイン、モデル主要部の開発、施策評価、執筆を行った。 Takanori Sakai, André Alho, Bhavathrathan B. K., Giacomo Dalla Chiara, Raja Gopalakrishnan, Peiyu Jing, Yusuke Hara, Tetsuro Hyodo, Lynette Cheah, Cheng Cheng, Fang Zhao, Moshe Ben-Akiva
３２　Evaluating the Impact of an Urban Consolidation Centre and Off-Hour Deliveries on Freight Flows to a Retail District Using Agent-Based Simulation	共著	2021年1月	The 100th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Online	シンガポール中心商業地区を対象に、都市共同配送とオフピーク配送の効果をシミュレーションにより評価した。【本人担当部分】シミュレータの開発とシミュレーション実施の補助を行った。 Rakhi Manohar Mepparambath, Lynette Cheah, P. Christopher Zegras, Andre Alho, Takanori Sakai
３３　Calibration of Activity-Based Freight Simulation Models: An Innovative Application to Freight Commodity and Vehicle Flows Relying on Traffic Screenline Counts	共著	2021年1月	The 100th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Online	非集計都市圏貨物交通シミュレータを対象とした新たなスクリーンラインベースの二段階キャリブレーション手法を開発した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、アルゴリズムの開発、論文執筆を行った。 Yusuke Hara, Takanori Sakai, André Alho, Moshe Ben-Akiva
３４　Exploring the Relationship Between Locational and Household Characteristics and Online Shopping	共著	2021年1月	The 100th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Online	運送業者提供データと社会経済指標を用い、Eコマース配送需要と立地・世帯特性との関係を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、重回帰モデルによるデータ分析、結果の解釈、論文執筆を行った。 Cheng Cheng, Takanori Sakai, André Alho, Lynette Cheah, Moshe Ben-Akiva
３５　Impact of Automated Mobility-On-Demand on Weekly Activity Patterns: A Study of Singapore	共著	2022年1月	The 101st Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	SP調査データを用い、オンデマンド自動運転サービス導入が週単位の活動・移動パターンに与える影響を分析した。【本人担当部分】結果の解釈および論文執筆を筆頭著者らと行った。 Karina Hermawan, Ravi Seshadri, Takanori Sakai, P. Christopher Zegras, Moshe Ben-Akiva

３６　Proximity Logistics: Characterizing the Development of Logistics Facilities in Dense Suburban Areas around the World	共著	2022年5月	The 9th International Urban Freight Conference, Long Beach, California	世界の主要都市を比較し、高密度都市地域に立地する都市型物流施設の特徴と成立条件を分析した。【本人担当部分】東京のケースを中心に、方法論、調査、可視化、分析結果の検証を担当した。 Heleen Buldeo Rai, Laetitia Dablanc, Sanggyun Kang, Takanori Sakai, Carla Tejada, Quan Yuan, Alison Conway
３７　強化学習を用いた長大車の高速道路合流箇所の安全性評価	共著	2022年6月	第65回土木計画学研究発表会・春大会，オンライン	強化学習を用いて高速道路合流シミュレーションを構築し、長大車導入が合流部の安全性に与える影響を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーション分析方法への助言、結果の解釈および原稿の加筆修正を行った。 東富隆馬，西崎省伍，兵藤哲朗，坂井孝典
３８　オンラインショッピングと買い物トリップの選択要因に関する研究：コロナ禍のニューヨーク市データを用いた分析	共著	2022年6月	第65回土木計画学研究発表会・春大会，オンライン	コロナ禍のニューヨーク市データを用い、世帯・個人特性等とオンライン・実店舗での購買行動との関係を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、行動モデル・分析方法への助言、結果の解釈、原稿の加筆修正を行った。 飯塚将太，坂井孝典，兵藤哲朗
３９　高速道路SA/PA駐車場デザイン評価のためのマイクロシミュレーション分析	共著	2022年6月	第65回土木計画学研究発表会・春大会，オンライン	高速道路SA/PAの大型車駐車をマイクロシミュレーションで再現し、駐車場デザインによる影響を評価した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーション分析方法への助言、結果の解釈および原稿の加筆修正を行った。 小西優樹，有賀なつほ，坂井孝典，兵藤哲朗
４０　A Joint Transport Mode and Shipment Size Model for Inter-City Freight: A Case Study Using the Japan Commodity Flow Survey	共著	2022年9月	The 9th International Conference on Transportation & Logistics (T-LOG 2022), Incheon, Korea	全国貨物純流動調査を用い、都市間貨物の輸送手段とロットサイズを同時に説明する選択モデルを構築した。【本人担当部分】研究デザイン、離散選択モデルの構築・分析への助言、結果解釈および原稿の加筆修正を行った。 Hsu Ya, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
４１　高速道路におけるトラック隊列走行・自動運転に対応した物流拠点の整備に関する研究	共著	2022年9月	第39回日本物流学会全国大会，名古屋，日本	トラック隊列走行・自動運転に対応した高速道路直結型物流拠点の機能、配置および整備方針を検討した。【本人担当部分】都市物流・物流施設の観点から研究設計、調査結果の整理・解釈、原稿の加筆修正を行った。 渡部大輔，平田輝満，坂井孝典，根本敏則，兵藤哲朗
４２　Design and Evaluation of Future Urban Congestion Pricing Schemes with Agent-Based Microsimulation	共著	2023年1月	The 102nd Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	大規模エージェントベースシミュレータを用い、複数の混雑課金方式の旅客・貨物交通への影響を評価した。【本人担当部分】SimMobility Freightによる貨物交通モデルの開発・分析設定への助言、結果解釈、原稿の加筆修正を行った。 Peiyu Jing, Takanori Sakai, Ali Shamshiripour, Ravi Seshadri, Andre Romano Alho, Antonis F. Lentzakis, Moshe Ben-Akiva

４３　プローブデータを用いた東京都市圏における貨物車ツアー分析	共著	2023年6月	第67回土木計画学研究発表会・春大会，福岡	GPSプローブデータから貨物車ツアーを抽出し、ツアータイプの選択要因を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、非集計行動モデルの仕様への助言、分析結果の解釈、研究指導を行った。 新部秀悟，坂井孝典，兵藤哲朗
４４　宅配事業におけるラストマイル施設の立地と効率性に関する研究	共著	2023年6月	第67回土木計画学研究発表会・春大会，福岡	ラストマイル施設の立地傾向と配送効率を分析し、施設用地確保シナリオによる配送効率への影響を評価した。【本人担当部分】研究デザイン、施設立地・配送効率分析への助言、結果の解釈および研究指導を行った。 田中慎也，坂井孝典，兵藤哲朗
４５　The Relationship Between the Spatial Distribution of Mega-Scale Logistics Facilities and the Associated Freight Traffic	共著	2023年6月	The 12th International Conference on City Logistics, Bordeaux, France	大型マルチテナント物流施設の空間分布と、それに伴う貨物車交通との関係を都市貨物シミュレータで評価した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーション分析、結果解釈および論文執筆を主導した。 Takanori Sakai, Virgilio Ma. Jr. Ramos, Tetsuro Hyodo
４６　The Evolution of Urban Freight Generation: A Study of Intra- and Inter-City Truck Trips	共著	2023年6月	The 12th International Conference on City Logistics, Bordeaux, France	東京都市圏の2003・2013年データを用いて貨物車発生モデルを推定し、都市内・都市間貨物交通の変化を分析した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、モデル構築・分析、結果解釈、論文執筆を行った。 Yurika Takano, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
４７　Modeling Household-Based E-Commerce Daily Goods Demand: Case Study in Japan	共著	2023年6月	The 12th International Conference on City Logistics, Bordeaux, France	Web調査データを用い、日用品のEコマース購入額と注文量・頻度を推計する世帯ベース需要モデルを開発した。【本人担当部分】研究構想・設計、データ収集、結果の分析・解釈および原稿作成を筆頭著者と共同で行った。 Riki Motojima, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
４８　Joint Modeling of Transport Mode and Shipment Size Choice for Inter-City Freight: A Case Study Using the Japan Commodity Flow Survey Data	共著	2023年7月	The 16th World Conference on Transport Research, Montreal, Canada	全国貨物純流動調査を用いて、都市間貨物の輸送手段とロットサイズの同時選択構造を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、モデル仕様・推定への助言、結果の解釈および原稿の加筆修正を行った。 Hsu Ya, Virgilio Ma Jr Ramos, Tetsuro Hyodo, Takanori Sakai
４９　Locations of Logistics Facilities for E-Commerce: A Case of the Tokyo Metropolitan Area	共著	2023年7月	The 16th World Conference on Transport Research, Montreal, Canada	東京都市圏を対象に、Eコマース関連の大型物流施設とラストマイル施設の空間分布・立地要因を分析した。【本人担当部分】研究構想、方法論、統計分析、ソフトウェア、研究指導、論文執筆・加筆修正を担当した。 Takanori Sakai, Kohei Santo, Shinya Tanaka, Tetsuro Hyodo
５０　買い物トリップとオンラインショッピングの代替関係に関する共分散構造分析	共著	2023年11月	第68回土木計画学研究発表会・秋大会，東京，日本	共分散構造分析を用い、個人・世帯特性や鉄道アクセシビリティとオンライン・実店舗購買傾向との関係を分析した。【本人担当部分】研究構想、方法論、統計分析、原稿作成・加筆修正および研究指導を担当した。 大沼祐犀，坂井孝典，兵藤哲朗

５１　ラストマイル施設の都市圏における空間分布に関する研究	共著	2023年11月	第68回土木計画学研究発表会・秋大会，東京，日本	国内主要都市圏を対象にラストマイル施設の空間分布と配送距離を分析し、配送効率の高い都市圏の条件を検討した。【本人担当部分】研究デザイン、空間分析・配送効率評価への助言、結果解釈および研究指導を行った。 平林佑基，坂井孝典，田中慎也，兵藤哲朗
５２　Study of Household E-Commerce Demand-Driven Urban Freight Using an Agent-Based Simulation Framework	共著	2024年1月	The 103rd Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	Eコマース物流チェーンをエージェントベース都市貨物シミュレータに実装し、各輸送段階の交通影響を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーションフレームワークの構築、分析設定、結果解釈および研究指導を行った。 Virgilio Ma Jr Ramos, Takanori Sakai, Riki Motojima, Tetsuro Hyodo
５３　２つの交通センサスデータを組み合わせたValue Flow推計手法の開発	共著	2024年5月	第69回土木計画学研究発表会・春大会，北海道，日本	物流センサスと道路交通センサスを組み合わせ、道路リンク単位の貨物価値を推計するValue Flow推計手法を開発した。【本人担当部分】研究デザイン、Value Flow推計手法の検討、推計結果の解釈および原稿の加筆修正を行った。 兵藤哲朗，坂井孝典，山本隆
５４　Relationship Between Last-Mile Delivery Efficiency and Metropolitan Spatial Characteristics	共著	2024年8月	The 28th Pacific Conference of the RSAI, Daegu, South Korea	複数都市圏を比較し、都市空間特性やラストマイル施設の分布と配送効率との関係を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、都市圏比較・空間分析への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Yuki Hirabayashi, Takanori Sakai, Shinya Tanaka, Tetsuro Hyodo
５５　シミュレーションモデルを用いた大都市圏後背地における物流施設が果たす役割に関する研究	共著	2024年11月	第70回土木計画学研究発表会・秋大会，岡山，日本	シミュレーションモデルを用い、大都市圏後背地の物流施設が貨物流動・交通システムに果たす役割を分析した。【本人担当部分】都市物流シミュレーションの観点から研究設計・分析方法への助言、結果解釈および原稿の加筆修正を行った。 小森広己，平田輝満，坂井孝典
５６　東京都市圏における中継物流施設選択モデルの構築	共著	2024年11月	第70回土木計画学研究発表会・秋大会，岡山，日本	東京都市圏を対象に、貨物輸送における中継物流施設の選択行動を表現するモデルを構築した。【本人担当部分】物流施設選択モデルの仕様・分析方法への助言を行った。 川村綺佳，尾崎誠，川崎智也，坂井孝典，福田大輔
５７　Unveiling Heterogeneity of Urban Goods Vehicles' Route Choice Behavior: Analysis Using GPS Data from the Tokyo Metropolitan Area	共著	2024年12月	The 28th International Conference of Hong Kong Society for Transportation Studies, Hong Kong, China	東京都市圏のGPSデータを用い、車種や運行目的によって異なる貨物車の経路選択行動を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、経路選択モデルの構築・分析、結果解釈および研究指導を行った。 Yumi Hazenoki, Takanori Sakai, Hideki Oka, Tetsuro Hyodo

５８　Freight Trip Generation in Metropolitan Areas: An International Perspective	共著	2025年1月	The 104th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	4大陸24都市圏のデータを比較し、事業所特性等と貨物交通発生量の関係およびモデルの移転可能性を分析した。【本人担当部分】東京圏の貨物交通データ・知見を提供し、国際比較結果の検証・解釈および論文加筆修正に参画した。 Julia Amaral, José Holguín-Veras, Matthew J. Roorda, Abel Kebede Reda, Mathieu Gardrat, Leise Kelli de Oliveira, Eli Goodrich, Oriana Calderon, Carlos Gonzalez-Calderon, Tho V. Le, Jesus Gonzalez-Feliu, Usman Ahmed, Ivan Sanchez-Diaz, Prasanta K. Sahu, Takanori Sakai, Abdelrahman Ismael, Diana Ramirez-Rios, Elise Capersen, José Luis Moura, Luigi Dell'Olio, Maira Delgado-Lindeman, Martin Ruesch, Paolo Todesco
５９　A Synthesis of Agent-Based Urban Freight Simulation Models: State of the Art, Challenges and Future Directions	共著	2025年1月	The 104th Annual Meeting of the Transportation Research Board, Washington D.C.	既存のエージェントベース都市貨物シミュレーションモデルを体系的に整理し、課題と今後の研究方向を検討した。【本人担当部分】都市貨物シミュレーションに関する知見を基に研究枠組み・文献整理への助言、結果解釈および原稿の加筆修正を行った。 Aaron Michael Salang, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo, Joseph Chow
６０　Modeling Delivery Time Selection for Intra-City Shipments Using GPS Data	共著	2025年6月	The 13th International Conference on City Logistics, Penang, Malaysia	GPS軌跡から擬似貨物データを生成し、貨物の配送時間帯を説明する選択モデルを構築・検証した。【本人担当部分】研究構想、方法論、原稿作成・加筆修正および研究指導を担当した。 Ryota Kodera, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
６１　Study of the Impact of Last-Mile Facility Deployment on E-Commerce Driven Freight	共著	2025年6月	The 13th International Conference on City Logistics, Penang, Malaysia	エージェントベースシミュレーションを用い、ラストマイル施設の配置がEコマース貨物交通に与える影響を分析した。【本人担当部分】研究デザイン、シミュレーションフレームワーク・シナリオ設定への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Virgilio Ma. Ramos Jr., Azuki Watanabe, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
６２　How Did the Advent of Large-Scale For-Lease Logistics Facilities Change Land Use? The Case of Tokyo Considering the Role of E-Commerce	共著	2025年6月	The 13th International Conference on City Logistics, Penang, Malaysia	東京都市圏を対象に、大規模賃貸型物流施設の開発前土地利用とその変化を分析し、Eコマースとの関連を検討した。【本人担当部分】研究デザイン、物流施設・土地利用データ分析への助言、結果解釈、原稿作成および研究指導を行った。 Masahiro Kawasaki, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
６３　In-Depth Analysis of Urban Freight Trip Generation: A Modeling Approach Using GPS Data	共著	2025年12月	The 29th International Conference of Hong Kong Society for Transportation Studies, Hong Kong, China	GPSデータを用いて都市貨物車のトリップ発生特性を詳細に分析し、貨物交通発生モデルを構築した。【本人担当部分】研究デザイン、モデリング手法への助言、結果解釈、原稿作成・加筆修正および研究指導を行った。 Yumi Hazenoki, Yuri Sakamoto, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo

６４　Development of a Transhippment Logistics Facility Section Model for an Agent-Based Urban Freight Simulator	共著	2025年12月	The 29th International Conference of Hong Kong Society for Transportation Studies, Hong Kong, China	エージェントベース都市貨物シミュレータに組み込む、中継物流施設の選択モデルを開発・検証した。【本人担当部分】研究デザイン、施設選択モデルの仕様・シミュレータ実装への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Shinya Tanaka, Yuki Hirabayashi, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
６５　Delivery Time-Period Choice Modeling Considering Time-of-Day Network Performance	共著	2026年4月	The 7th Green Cities Conference, Szczecin, Poland	時間帯別道路ネットワーク性能を考慮し、都市内貨物の配送時間帯選択を説明するモデルを開発した。【本人担当部分】研究デザイン、配送時間帯選択モデル・ネットワーク指標の設定への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Daichi Fukuda, Takanori Sakai, Ryota Kodera, Tetsuro Hyodo, Hideki Oka
６６　An Empirical Study of Last-Mile Delivery Modes and Mode Choice Modeling	共著	2026年4月	The 7th Green Cities Conference, Szczecin, Poland	ラストマイル配送に利用される輸送手段の実態を分析し、配送手段選択を説明するモデルを構築した。【本人担当部分】研究デザイン、配送手段選択モデルの構築・分析への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Riku Matsuda, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
６７　Study of the Impact of the Spatial Distribution of Fulfillment Centers on E-Commerce Demand-Driven Freight	共著	2026年6月	11th International Conference on Transport and Logistics (T-LOG 2026), Shenzhen, China	Eコマース物流を対象に、フルフィルメントセンターの空間配置の違いが貨物流動・貨物車交通に与える影響をシミュレーションで評価した。【本人担当部分】研究デザイン、エージェントベースシミュレーションの構築・シナリオ設定、結果解釈、原稿作成および研究指導を行った。 Virgilio Ma. Ramos Jr., Azuki Watanabe, Dean Jasper Tolentino, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo
６８　TOKYO-FREIGHTSIM: An Integrated Urban Freight Simulation Framework for B2B and B2C Demand with Network Assignment	共著	2026年6月	11th International Conference on Transport and Logistics (T-LOG 2026), Shenzhen, China	B2B・B2C貨物需要と道路ネットワーク配分を統合した東京都市圏の都市貨物シミュレーションフレームワークを構築した。【本人担当部分】都市貨物シミュレーション全体の設計・モデル統合への助言、結果解釈および研究全体の監修を行った。 Fuga Mayuzumi, Hideki Oka, Motoki Takai, Kota Miyauchi, Takeshi Kenmochi, Shota Kawakami, Yasukatsu Hagino, Ryuta Nishi, Tetsuya Ashida, Kotaro Kuroe, Takanori Sakai
６９　Evaluating Off-Hour Delivery Policy Using an Agent-Based Freight Model	共著	2026年7月	The 17th World Conference on Transport Research, Toulouse, France	エージェントベース都市貨物モデルを用いてオフアワー配送政策を再現し、貨物車交通等への影響を評価した。【本人担当部分】研究デザイン、都市貨物シミュレータおよび政策シナリオの設計、結果解釈、原稿作成・加筆修正、研究指導を行った。 Aaron Michael Salang, Takanori Sakai, Yumi Hazenoki, Ryota Kodera, Hideki Oka, Tetsuro Hyodo

７０　Development of an Urban Typology Framework for Supporting Sustainable Freight Planning: A Case of Japanese Municipalities	共著	2026年7月	The 17th World Conference on Transport Research, Toulouse, France	日本7都市圏688自治体の貨物需要・土地利用等を用い、都市物流特性を9類型に分類するタイポロジーを開発した。【本人担当部分】筆頭著者と共に研究デザイン、分析・類型化手法、結果の検証・解釈、論文執筆および研究指導を行った。 Yuichiro Tanaka, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo, Ryota Kodera
７１　Development of Urban Freight Vehicle Parking Duration Models Using Survival Analysis	共著	2026年7月	The 17th World Conference on Transport Research, Toulouse, France	都市貨物車の駐車時間データに生存時間分析を適用し、駐車継続時間に影響する要因をモデル化した。【本人担当部分】研究デザイン、生存時間モデルの仕様・分析への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Mika Taniguchi, Takanori Sakai, Tetsuro Hyodo, Azuki Watanabe
７２　Diversity in the Evolution of Last-Mile Deliveries: The Interactions Between the E-Commerce Growth and Urban Development, Planning and Delivery Service Market	共著	2026年7月	The 17th World Conference on Transport Research, Toulouse, France	5都市を比較し、都市構造、政策、市場構造等がEコマースのラストマイル配送システムに与える影響を分析した。【本人担当部分】研究構想、方法論、調査、検証、可視化、論文執筆・加筆修正を担当し、研究を主導した。 Takanori Sakai, Bram Kin, Heleen Buldeo Rai, Alison Conway, Lynette Cheah, Giacomo Dalla Chiara, Walther Ploos van Amstel
７３　Simulation-Based Evaluation of the Impact of Logistics as a Service on Last-Mile Parcel Deliveries	共著	2026年7月	NECTAR Conference ’26, Munich, Germany	シミュレーションを用い、Logistics as a Service導入によるラストマイル小包配送の変化と交通・物流への影響を評価した。【本人担当部分】研究構想、シミュレーション設計・シナリオ分析への助言、結果解釈および研究指導を行った。 Ryota Kodera, Joris Beckers, Takanori Sakai
７４　自動車燃料消費量調査を用いた18年間の傾向分析	共著	2026年8月	第46回交通工学研究発表会, 東京, 日本	自動車燃料消費量調査の18年間の個票データを用い、燃費決定構造の長期変化とHV普及による燃料削減効果を分析した。【本人担当部分】分析方法および結果の取りまとめ方について指導し、分析結果の解釈・考察に助言した。 山内茉莉, 兵藤哲朗, 坂井孝典
（その他） ・単独：3 ・共同：0				
１　（卒業論文）住民による道路計画プロセスの事後評価について	単著	2006年3月	東京工業大学	パブリックインボルブメント、及び、計画プロセスの要件に対する市民からの評価を抽出するための設問体系を構築し、アンケート調査を実施した。
２　（修士論文）計画確定行為における合理性確保に関する研究	単著	2008年3月	東京工業大学	計画確定行為における合理性を構成する概念体系を構築し、構築した概念体系を用いて法的適用場面における合理性の使用実態を把握した。

３　（博士論文）The Simulations of the Urban Logistics Land Use and Associated Logistics Chains for Policy Insights	単著	2017年5月	University of Illinois at Chicago	東京都市圏における物流施設の郊外化とトラック交通量との関連について、立地の最適性に焦点を当てつつ、分析を行った。また、都市貨物土地利用・交通シミュレータを開発し、それを用いて物流施設の空間分布に起因する都市貨物交通影響の分析を行った。

教 育 研 究 業 績 書

教育上の能力に関する事項	年(西暦)月 日	概　　要
3　当該教員の教育上の能力に関する特記事項（外国機関での教育実績，外国語による講演等実績を含む）		
イリノイ大学シカゴ校における講義	2016年1月～2017年12月	イリノイ大学シカゴ校在籍時に、大学院生を対象とした3科目の講義を英語で担当した。
シンガポール工科設計大学博士課程学生のメンター	2017年6月～2019年7月	Singapore-MIT Alliance for Research and Technology（SMART）において、シンガポール工科設計大学（Singapore University of Technology and Design）の博士課程学生2名のメンターを務め、研究指導を行った。
マサチューセッツ工科大学夏期講座ゲストインストラクター	2020年7月	マサチューセッツ工科大学（MIT）の夏期講座において、ゲストインストラクターとして1コマの講義を担当した。
マサチューセッツ工科大学博士論文委員会委員	2020年5月～2021年10月	マサチューセッツ工科大学（MIT）の博士課程学生1名の博士論文委員会委員を務め、博士論文の研究指導・審査に携わった。
JICA課題別研修「総合都市交通計画」における講義	2021年12月	独立行政法人国際協力機構（JICA）の課題別研修「総合都市交通計画」において、5か国から参加した8名の交通政策関係者等を対象に「都市貨物計画」に関する講義を担当した。
仁荷大学 BK21 Lecture Seriesにおける招待講演	2023年11月	韓国・仁荷大学校物流大学院のBK21 Fall 2023 Lecture Seriesに招待され、「Logistics Facilities in Cities: A New Trend and Evaluation」と題する講演を英語で行った。物流施設立地の変化、Eコマースの成長に伴う新たな動向、およびエージェントベース都市貨物シミュレーションを用いた評価手法について、大学院生等を対象に解説した。
JICA課題別研修「都市交通総合」における講義	2024年1月	独立行政法人国際協力機構（JICA）の2023年度課題別研修「都市交通総合」において、17か国から参加した17名の研修員を対象に、「都市貨物計画」に関する講義を担当した。
JICA課題別研修「都市交通総合」における講義	2024年10月	独立行政法人国際協力機構（JICA）の2024年度課題別研修「都市交通総合」において、18か国から参加した19名の研修員を対象に、「都市貨物計画」に関する講義を担当した。
アントワープ大学 Urban Logistics Summer Schoolにおける講義	2026年7月	アントワープ大学が主催するUrban Logistics Summer Schoolにおいて、修士・博士課程学生や実務家等を対象に、都市物流における土地利用の動態、ラストマイル配送システムの地域的特性、エージェントベース都市貨物モデリングに関する3講義を英語で担当した。
職務上の実績に関する事項	年　月　日	概　　要

1　資格，免許		
2　特許等		
3　実務家教員についての特記事項		
4　その他 【外部資金・競争的資金】 ボルボ研究教育基金　2013 Study Visit Grant	2013年12月～ 2014年1月	“The Trend and the Efficiency of Logistics Facility Distribution in Tokyo Metropolitan Area” 16,000 スウェーデン・クローナ (1,710米ドル)
ボルボ研究教育基金　2015 Study Visit Grant	2015年9月～ 10月	“Study exchange and study and research activities on urban freight and logistics sprawl, comparative analyses (Paris, Tokyo, Chicago)” 24,000 スウェーデン・クローナ(2,830米ドル)
2021 年度 科学研究費助成事業・研究活動スタート支援	2021年8月～ 2023年3月	「Eコマース交通分析のための供給側モデルの開発研究」 2,730千円　研究代表（21K20445）
㈱高速道路総合技術研究所との共同研究	2020年10月～ 2022年2月	「令和２年度　既存データを用いた交通動向分析手法に関する研究」1,760千円　分担
国土交通省道路局「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」受託研究	2021年5月～ 2022年2月	「ダブル連結トラックおよび貨物車隊列走行を考慮した道路インフラに関する技術研究開発」 24,880千円　分担
2023 年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・若手研究（独立基盤形成支援による追加配分を含む）	2023年4月～ 2026年3月	「エージェントベース都市圏貨物交通モデルの実装とシミュレーション分析」6,240千円　研究代表 (23K13421)
2024 年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・基盤研究(C)	2024年4月～ 2027年3月	「2つの交通センサスデータを組み合わせたValue Flow推計手法の開発」4,160千円　分担 (24K07697)
一般財団法人計量計画研究所（IBS）フェローシップ助成金	2024年8月～ 2026年7月	2,250千円　代表
2025 年度 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・基盤研究(B)	2025年4月～ 2028年3月	「物流の脱炭素化に向けた電力と交通を融合した電気自動車のネットワーク解析理論の構築」 18,850千円　分担 (25K01341)
【寄付金】 一般財団法人計量計画研究所　研究助成金	2026年4月	2,000千円　代表